

大東川洪水(想定最大規模)・土砂災害ハザードマップ

大東川洪水(想定最大規模) ハザードマップ

このマップは、水防法の規定により想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深、家屋倒壊をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)、避難場所を示したものです。また、平成16年の台風23号によって浸水した範囲も示しています。

大東川の浸水予測範囲は、大東川流域の1日の総雨量が72.6mmとなる大雨(概ね1000年に1回起こる大雨)を想定した計算結果に基づいて作成しています。

なお、この想定計算は大東川本川の氾濫のみを考慮しており、鴨田川等の支派川の氾濫、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫を考慮していませんので、状況によってはマップに示した「浸水範囲」以外の場所での浸水が起ることもあります。

土砂災害ハザードマップ

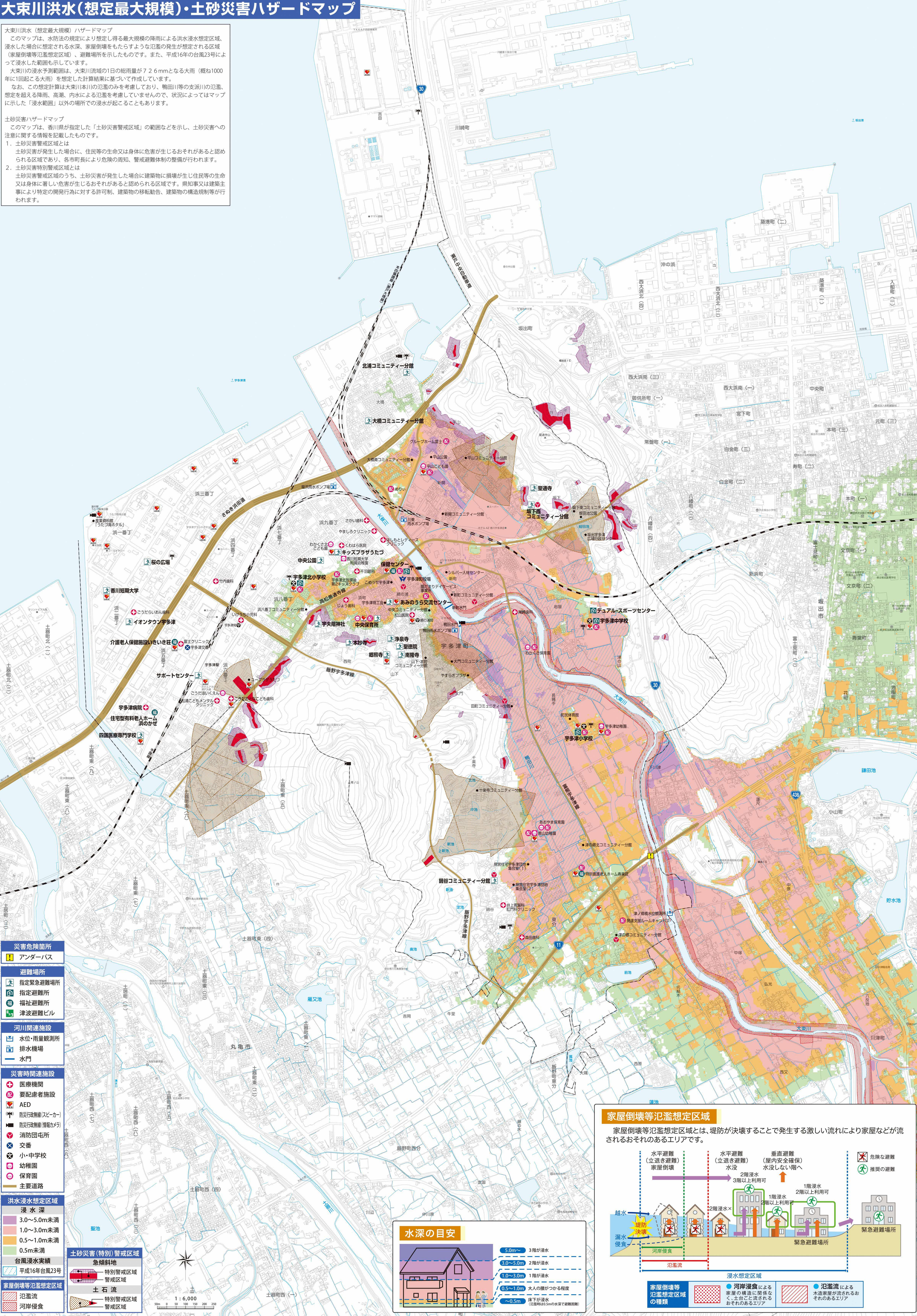
このマップは、香川県指定した「土砂災害警戒区域」の範囲などを示し、土砂災害への注意に関する情報を記載したものです。

1. 土砂災害警戒区域とは

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、各市町長により危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

2. 土砂災害特別警戒区域とは

土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。県知事又は建築主事により特定の開発行為に対する許可制、建築物の移転勧告、建築物の構造規制等が行われます。



家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、堤防が決壊することで発生する激しい流れにより家屋などが流されるおそれのあるエリアです。

避難方法:

- 水平避難 (立退き避難): 家屋倒壊
- 水平避難 (立退き避難): 水没
- 垂直避難 (屋内安全確保): 水没しない階へ

危険な避難: 推奨の避難

緊急避難場所

水深の目安:

- 5.0m~: 3階が浸水
- 3.0~5.0m: 2階が浸水
- 1.0~3.0m: 1階が浸水
- 0.5~1.0m: 大人の腰がつかる程度
- ~0.5m: 床下が浸水 (氾濫時は0.5mの水深で避難可能)

家屋倒壊等氾濫想定区域の種類:

- 家屋倒壊等氾濫想定区域の種類
- 河岸浸食
- 氾濫流